

名古屋市2万人会員増強運動 「なごやかクラブ名古屋」～広げよう仲間づくりの輪～ ⑱

◆5年連続「優秀クラブ特別賞」を受賞した瑞穂区船北老人会の取り組み



名古屋市2万人会員増強運動において、名古屋市老連に所属する単位老人クラブで唯一5年連続して「優秀クラブ特別賞」を受賞した瑞穂区「船北老人会」について会員増強の秘訣を探りました。

「船北老人会」は現在男性27名・女性49名の合計76名で活動をしています。主に、区老連の行事に参加するほか、単位クラブ独自で敬老の日に社会奉仕活動記念品の配布、総会(研修会・懇親会・食事会を兼ねる)、サロン活動(平成30年度は151回・参加者のべ1,118名)を行っています。2万人会員増強運動では、

- ①役員の皆さんが会員増による負担増をものともせず、前向きに増員活動に努力してきた。
- ②会員全員が5年連続受賞に関心を持ち、友人や連れ合いを誘い入れてくれた。

③会員の居住範囲を、従来の3町内から近隣に居住する人に改めた。

④高齢者のたまり場として観音堂を改修、活動の場を確保できた。

などの取り組みを行い、5年連続の受賞につながりました。



特にサロン活動は船北老人会会員および近隣の高齢者が集い、談笑し、学び合う場として幅広い活動が行われています。「魚拓」「カラオケ」「囲碁」「麻雀(初心者も含むコース)」が月2回、「麻雀(経験者コース)」が月4回開催されるなど、バラエティーに富んだプログラムとなっています。

取材に訪れた際、「麻雀」には最高齢92歳の男性会員も参加されていました。とても元気な90歳の女性会員は「ここにきて麻雀をすることが生きがいです」と笑顔いっぱいでお答えしてくれました。

会長の福島さんに「会長としてどのようなことに配慮されていますか」とお尋ねしたところ、「会員を公平に対応する」「行事参加者に助成を行うことで、多くの会員が行事に参加するよう心掛けた」「会計面を明確にし、かつ年会費(1,200円)以外の出費を小さくする」などに配慮していると答えられました。また今後は、「健康寿命を延ばし、社会に貢献しようという意識を持ち続けようとする高齢者集団になりたい。ただし、組織的な若返りも必要であり、会員増強と会長交代も忘れないようにしたい」と話されました。



船北老人会
福島 会長

全国一斉社会奉仕の日

美化活動を市内各所で展開

老人クラブは昭和31年より老人週間を中心に、地域社会に対する感謝と高齢者の社会参加への意欲を示そうと全国一斉「社会奉仕の日」の活動に取り組んでいます。

今年度も名古屋市老連も市内各所で「花のあるまち、ゴミのないまち」を目指し、美化活動や環境活動に取り組みました。

- ◆参加クラブ 1,074 クラブ
- ◆参加会員 14,220 名
- ◆ごみの総量 10,500 袋(1袋=45ℓ)
- ◆清掃箇所 2,141 力所



北区



千種区



西区



東区